



復興支援ニュース



宮城県東部保健福祉事務所
(宮城県石巻保健所)

Vol.87

平成30年11月

新型インフルエンザ等の発生に備える訓練を実施しました！

インフルエンザが流行する季節に入りますが、皆さんは、「新型インフルエンザ」をご存じですか？
野鳥などでみられる鳥インフルエンザは、通常、ヒトからヒトへの感染はありません。しかし、ウイルスが特殊な変異を起こしてヒトからヒトへ感染できるようになると「新型インフルエンザ」と呼ばれ、パンデミック（爆発的な世界規模の大流行）を引き起こす可能性があります。

国内外で新型インフルエンザの発生が確認されれば、石巻管内の行政及び医療関係者も適切な役割分担の下、感染拡大防止や医療提供体制の確保に努めねばならず、平時からの準備が大切です。

10月18日（木）、石巻赤十字病院に管内の市町、主な医療機関、医師会等関係機関、当所等の約70人が集い、新型インフルエンザの発生シナリオに沿って、各々の役割や地域の課題等を確認する訓練を行いました。

今後も会議や訓練を重ね、新型インフルエンザに備える体制を充実させてまいります。



【訓練の様子】

住民フォーラム2018女川編～在宅ケアってどんなこと？～を開催しました！

11月4日（日）女川町のまちなか交流館でフォーラムを開催し、約80の方にご参加いただきました。

ミニ講演では「自宅で暮らしたいを支える」をテーマに、かかりつけ医の立場から女川町地域医療センター齋藤充センター長、介護職の立場からぱんぷきん介護センターヘルパーステーション女川の阿部眞希子所長、家族のお看取りを経験された須田れい子さんの三人を講師にご講演をいただきました。

寸劇では、がんを抱えながら入院生活を送る高齢者とその家族を主人公に、「海に見える家に帰って最期の時を過ごしたい」という本人の希望を、ご近所さんや医師、介護支援専門員、ヘルパー等の専門的なスタッフがつながりながら自宅での生活を支援していく姿を演じました。

その後、感想や医療や介護に関する疑問や心配なことについて意見交換を行いました。「地域のつながりをさらに大事にしていきたい」や「看取りという重い話題も、なんとかなるさという気持ちで臨めるような気がした」等、和気あいあいと語り合われました。



【講演の様子】



【寸劇の訪問入浴の場面】

医療と福祉の連携推進研修会を開催しました

11月14日（水）、医療・介護関係者を対象に脳卒中患者とがん患者に関する多職種連携について考える研修会を県石巻合同庁舎で開催し、209人が参加しました。

研修会では、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、介護支援専門員など8名が、脳卒中患者とがん患者に関する各職種における役割や他の職種との連携について発表を行いました。2つの異なる疾病の多職種連携の現状を知ることで、各職種の専門性をより深く理解することができました。

また、8人の発表者によるパネルディスカッションを行い、会場からの質疑など参加者を交えて意見交換が行われました。



【発表の様子】



【パネルディスカッションの様子】

「野焼き」は、原則禁止です

野焼きとは、法令の基準に適合した焼却施設を使わずに、野外でごみを燃やすことです。ドラム缶や基準に合わない焼却炉で燃やしたり、穴を掘って燃やすのも同じ野焼きです。

野焼きは、廃棄物処理法の規定により原則禁止されており、罰則もあります。

野焼きをすると、や臭いで近隣に住む方に迷惑がかかったり、火災や交通の支障になるおそれがあります。

お互いに気遣って住みよい環境を守りましょう。

（担当：環境廃棄物班 電話：0225-95-1447）



野焼きはいけません

ひとりで悩まずに 「こころの相談」をしてみませんか

眠れない、気分が落ち込む、アルコールがやめられない、家族が引きこもっている…などでお悩みの方に、当所では「こころの相談」を行っています。

予約制ですので、まずは当所までご連絡ください。

（担当：母子・障害班 電話：0225-95-1431）

内容	相談日	場所
精神保健福祉相談	12月12日(水)	県石巻合同庁舎
アルコール 関連問題相談	12月21日(金)	
思春期・青年期 ひきこもり相談	12月18日(火)	

問合せ先 宮城県東部保健福祉事務所（石巻保健所）

復興支援情報発信チーム

ご意見・ご感想をお寄せ下さい

HP：<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-hc/>

Tel：0225-95-1416（代表） Fax：0225-94-8982